

2021 07 Summer

認定 NPO 法人がんサネットジャパン



CNJ Speakers

Know (≠ No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.
24

祝 30 周年!がんサネットジャパン 活動の軌跡・未来への展望
CNJ News / CNJ Report
2020 年度活動報告・サポーターリスト
海外がん医療 TOPICS

1991年6月より活動を開始し、今年、30周年を迎えた

認定NPO法人がんサネットジャパン（以下、CNJ）。

「がん患者が本人の意思に基づき、がん治療に臨むことができるよう、

科学的根拠に基づく情報発信を行う」を団体の使命とし、

がんになっても生きがいのある社会を実現するべく活動を続けてきました。

今回は、CNJ 理事長の岩瀬 哲、理事の後藤 悌、事務局長の木原 康太が、

これまでの30年間の振り返りと、これからのCNJの在り方を語り合います。

祝
30周年!

がんサネットジャパン 活動の軌跡・未来への展望

岩瀬 哲

がんサネットジャパン
理事長

後藤 悌

がんサネットジャパン
理事

木原 康太

がんサネットジャパン
事務局長

CancerNet Japan

30年前のがん医療とCNJ 患者さんへ情報を届けるための第一歩

木原…CNJは、患者さんへ正しい情報を提供するべく、学会や病院などと共催してのセミナー、患者・家族・市民向けのがんフォーラム「ジャパンキャンサーフォーラム」、CIN（がん情報ナビゲーター）養成講座やBEC（乳がん体験者コーディネーター）養成講座など、さまざまな活動を展開してきました。初期のころから活動に関わっている岩瀬先生、CNJのそもそもの始まりについて教えてください。

岩瀬…30年前に、乳がんの専門医である南雲吉則先生と吉田和彦先生の2人が、米国立衛生研究所（以下、NIH）が発行した乳がん患者さん向けの冊子を日本語に翻訳し、がん情報書にして無料配布したことから活動が始まりました。

木原…患者さんが情報を得ることが難しい時代だったと想像しますが、実際にはどのような状況でしたか。

岩瀬…情報のなかでも、「科学的根拠がある情報」とは、研究やデータの集積による裏付けがあるもの。30年前は、患者さんだけでなく、医師にもそのような質の高い情報が行き届かない時代でした。

乳がんを例に挙げると、「2000年にはNIHから「乳房を温存する治療法が望

ましい」という勧告が出ていたにも関わらず、当時の日本では大きく切除するのが一般的でした。「温存治療が安全」という知識があつたのは、一部の医師のみ。多くは権威ある医師が行ってきた治療法に習うという、科学的根拠に乏しい医療が展開されていきました。ひどい時代でしたね。

そのころの私は、乳がんの勉強をしていた若い医師でした。わが国ではほとんど行われていなかった乳房温存術を取り入れている南雲先生に出会い、「一緒に活動しよう」と声をかけられました。有志の医師が集まって情報を翻訳し、患者さんにファクスで配信する活動です。当時はまだインターネットの時代ではなかったため、「キャンサーネット」ではなく、「キャンサーファクス」でした。

木原…患者さんへの情報提供のみならず、当時のがん医療全体にも一石を投じるような活動だったのですね。

岩瀬…科学的根拠の低い治療法を片っぱしからぶち壊しているような時代でした。昔ながらの方法を正しいと信じる先輩医師からは、いじめられました。患者さんや一般の人、がんは「悪いもの」「隠さなければいけないもの」というイメージが強かったころ。ご家族から、「がんという診断をつけないでは



岩瀬 哲（いわせ さとる）

CNJ 理事長

埼玉医科大学病院 緩和医療科 教授

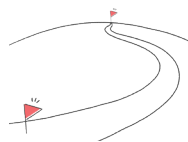
1994 年、埼玉医科大学卒業。埼玉医大総合医療センター第一外科、東大病院緩和ケア診療部、東大医科研病院緩和医療科を経て、2017 年 10 月より現職。緩和医療学、地域医療学が専門。元ボクサー。座右の書は「葉隠聞書」。JAZZ はダラー・ブラントの「アフリカン・ピアノ」。リチャード・ドーキンスの「利己的な遺伝子」に影響を受け「進化医学」も標榜している。2018 年 4 月より埼玉医科大学病院救急科兼担教授となり、2025 年問題に取り組んでいる。

しい」と言われたこともあるほどです。がんに関する活動もあり理解されなかったため、当時は、私も CNJ に関わっていることを大きな声で言えませんでした。

木原…大変な時代でしたね。それが変わっていった背景には何があったのですか。

岩瀬…2007 年に「がん対策基本法」が施行されてから、がんを取り巻く環境は大きく変わりました。これによって、「科学的根拠に基づいた、現在できる最良の治療（＝標準治療）をするのが当たり前」になったんです。当時は貴重だった私たちの翻訳の活動もさまざまな組織が行うようになり、患者さんは情報を得やすくなっています。そして次に問題になってきたのは情報の質の高さですね。

後藤…私は 15 年くらい前から CNJ の活動をしています。そのきっかけになったのは、私の患者さんがインターネットで間違った情報を得ていたことです。「この状況を何とかしなければ」と思いました。上司にそのことを相談すると、賛同はしてくれなかった。行動を起こすまでには至りませんでした。先々代の CNJ 事務局長に誘われて来てみたら、組織のなかに岩瀬先生がいたんです。数年前には、同じ病棟で働いていたのにまったく知りませんでした。



実は、岩瀬先生は、私のがん医療を志そうかと考えていたときに大きな影響を与えてくれた方。先生がいるなら信用できる組織だと思ったのと同時に、自分も手伝える活動だと感じました。

木原…がん対策基本法以降は、活動にも変化がありましたか。

岩瀬…2007 年から「CIN 養成講座」や「BEC 養成講座」を開始しました。これらは、がん経験者自身が「がんのナビゲーター」になって活動するためのものです。「がんになった人が、がん医療を支える時代が来る」と考え、CNJ が先陣を切って進めてきました。

2014 年からは、「アキバキャンサーフォーラム」（後の「ジャパンキャンサーフォーラム」）が始まりました。がんを「知り」「学び」「集う」

医師・患者ともに意識が変化

がん経験者が、がん医療を支える時代へ

ことを目的とした、最新がん医療フォーラムです。日本を代表する各領域のがんの専門家から学び、患者、家族、市民、医療者が共に集うことで勇気や希望を得ていく場になればと考えました。2018 年には 3,000 人以上が来場するまでに成長。2020 年はオンラインで開催し、遠方の方や入院中の患者さんにも気軽に参加できるようになりました。

木原…毎年、たくさんのがん医療の医師や専門家がボランティアで講師を務めてくださっています。それも新しい流れでしょうか。



後藤 悌（ごとう やすし）

CNJ 理事

国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科

2003 年、東京大学医学部卒業。都内で研修後、2006 年から国立がんセンター中央病院内科に勤務し、2010 年より東京大学医学部呼吸器内科。2014 年 11 月より現職。肺がんに対し呼吸器学および腫瘍学の観点から治療に取り組む傍ら、医療の情報の質や伝達方法に関心をもち活動中。



木原 康太（きはら こうた）

CNJ 事務局長

NPO 法人 JORTC 理事、大学卒業後、一般企業の営業を経て、東京大学や国立がん研究センター中央病院にて緩和ケア領域の臨床研究支援業務に従事する。2012 年、緩和ケア領域の臨床研究支援を目的とした NPO 法人 JORTC を医師、生物統計家の先生方と設立。緩和ケア領域をはじめ、がんや補完代替医療などの様々な臨床研究の企画運営に携わる。2017 年 4 月より認定 NPO 法人がんネットジャパン事務局長に就任

今後30年「次世代のCNJ」 多様な立場の人が関わり、世の中を変えていく

木原…この30年間で、多くの課題を乗り越えてきました。しかし、私たちが取り組んでいくべきことは、まだまだたくさんあると思います。次の30年に向けた「次世代のCNJ」として、どんなことをやっていきたいですか。

岩瀬…オンラインをどう活用できるかを模索したいですね。昨年は新型コロナウイルスの影響で、ほとんどすべてのイベントをオンラインで開催しました。私はCNJでグリーンフケア（悲しみのケア）を担当していますが、基本的には対面じゃないと難しいんです。本音を語りづらいうし、画面を切ったあとにすごく寂しくなる

と聞きました。オンライン化は、新型コロナが起これなくとも発展していったらと思うんです。これがいい機会になるように、何とか工夫して、オンラインでもいいケアができるようにしていきたいです。

後藤…目標は、明日が今日よりよくなるように、少しずつ前へ進むこと。オンラインは突然現れたものではなくて、みんなが急に“慣れた”もの。せっかく進んできたことを後退しないようにしていきたいですね。そのためには多くの人の力・知恵を集約できればと思っています。

木原…現在は、スタッフの多くががんの経験者や家族ですが、最近は大學生からも問い合わせがあるんです。問題意識を持つ人の幅が広がってきていると感じます。

岩瀬…学校を卒業した若い人たちが「就職したい」と思えるようになることが、組織が発展する条件じゃないかと思うんです。年齢や立場に関係なく、「こんな企画をやりたい」という案を持ってきてもらえるといいですね。

後藤…患者さんや医療従事者など、いろいろなつながりがある組織ですから、そこをみなさんに利用してもらいたいです。私の患者さんの1人が「ラベンダーリング」という活動を始めてCNJも協力したのですが、いままでない速さで広がっています。そのような変動が生まれやすい環境を意識していきたいです。

私は、医療の環境を少しでも改善していくために、医師としての仕事だけではなく、あらゆるチャネルを活用していきたいと思っています。CNJに関わり、同じ問題意識を持つ仲間を見つけたのは、私にとってとても大きかった。NPOのいいところは、同じ意識の人が集まって問題を解決しようと取り組めること。1人で「問題だ」と騒いでいるだけでは何も変わらないんです。ま

後藤…医師は、担当する患者さんのためであれば、具合が悪くなったら時間外で診ることもよくあるので、一般的には患者さんのためにボランティアをすることに不思議はありません。近年では、自分が担当していない大勢の人に向けての発信にも喜んで協力してくれる医師が増えてきたと感じています。その輪が広がっているのはいいことです。職場でCNJの話をすると、30年前のようにタブー視されるのではなく、逆に「いい活動をしているね」と声をかけてくれます。そのように変わってきたのは、これまでの岩瀬先生たちの活動が実ってきた証拠だろうと思います。

木原…セミナーで扱うがん種も幅広くならしましたね。

後藤…最初は、胃がんや肺がんなど患者さんの多いがん種を中心にしていました。が、それらの情報が十分に流れるようになってきたため、患者さんが日本で1000人くらいいない希少ながん種のセミナーも行うようになりました。どんどんいろいろな人に情報を提供していけるようになっていきます。がん医療は、ここ15年ですごくよくなりました。生存率や治療法の意味だけではなく、患者さんが自分の治療法について考えたり、納得のいく医療を受けるために病院を選んだりする環境という面です。情報が増えて、それに基づいて意志決定できる環境が整ってきているのは社会全体の流れではありますが、がん領域においてはCNJの活動も多少なりとも貢献できているのではないかと思います。



文／木口マリ
写真／AKANE

た、自分が問題に思っていることの方角性が本当に正しいかどうか、さまざまな視点や立場の人に評価されるべきだと思っています。そうやって、自分たちでいいものを作っていく。それが、世の中をよくしていくためには大切で、一番の近道だと思っています。たくさんの方の立場の人とつながっているCNIJが、そのまとめ役になるといいですね。

木原.. がん領域でのハブとして、活動をいっそう促進していきたい。本日は、ありがとうございました！

30th Anniversary
CNI
CancerNet Japan

Return to the Origin

科学的根拠に基づくあらゆるがん医療情報を、
がんになっても生きがいのある社会を



Online

2021 Japan Cancer Forum

がん患者さんやご家族・一般市民のための日本最大級のオンラインがんフォーラム

8月21日(土)

8月22日(日)

乳がん リンパ浮腫 女性のがんのセクシュアリティ がんと新型コロナ 在宅医療 補完代替医療 日本がん免疫学会共催： がんの免疫療法 NPO 法人 エンパワリング プレストキャンサー /E-BeC 共催： 乳房再建 臨床試験と患者市民参画 NPO 法人 肺がん患者の会 ワンステップ共催： 肺がん がん治療と AI 女性のがんとホルモンの関係 一社 日本小児血液・がん学会 / NPO 法人 日本小児がん研究グループ共催： 小児がん NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構共催： 子宮頸がん NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構共催： 子宮体がん NPO 法人 婦人科悪性腫瘍研究機構共催： 卵巣がん 腎がん 椅子に座ったままでできる笑顔ヨガ がんサバイバーの声を聞こう！ 全員集合！どこでもドアで交流会へ！（両日） LAVENDER RING（両日） オンライン MAKEUP & PHOTOS WITH SMILES	がん検診 大腸がん グリーフケア 武田薬品工業株式会社共催： 自分らしく病氣と向き合うために 肺がん 一社 食道がんサバイバーズシェアリングス共催： 食道がん コロナ禍における正しい情報の入手 膀胱がん 血液がん 肝臓がん 胆道がん がんと栄養（悪液質） 一社 日本皮膚悪性腫瘍学会： 皮膚がん 虫垂がん 認定 NPO 法人 希望の会共催： 胃がん治療が大きく変わる 公財大阪国際がん治療財団 大阪重粒子線センター共催： 重粒子線治療 NPO 法人 中皮腫サポートキャラバン隊共催： 中皮腫 バイエル薬品株式会社共催： 前立腺がん がんゲノム 頭頸部がん 一社 iACP 協力：ケアギバー対象特別企画「もしバナゲーム」 肉腫 LAVENDER RING CHANNEL
---	--

お申込み
に際して



Peatix アカウントがある方

下部の Peatix 本イベントページか左記 QR
より、参加無料チケットをお申込みください。

<https://jcf-2021.peatix.com>

Peatix アカウントがない方

事前に Peatix アカウントを作成か、Twitter/
Facebook/Google/Apple アカウントでログインし、
参加無料チケットをお申込みください。詳細は、下記
より Peatix ヘルプページを参照ください。

<https://peatix.com>

- ◆ Peatix のチケットは、パソコン、スマートフォンなどからお申込みいただけます。
- ◆ お電話、メール、FAX でのお申し込みは承っておりません。予めご了承ください。

「がんと性」の ウェブページ公開

昨年度よりスタートさせた助成金事業「がん患者の性生活（セクシュアリティ）と心と体に及ぼす性的側面のサポート」では、2021年3月1日にウェブサイトを「がんと性のこと」をリニューアルし「がんと性」のページを新設・公開しました。がんやがん治療に伴う性腺や性機能へ与える影響、がんとセックスとコミュニケーション、海外のセクシュアリティに関する情報など幅広く記事にまとめています。がん患者さんだけでなく、パートナーに向けた記事も充実させていきます。自分に関係ないかな、って思っている方も、まずはどのようなものがあるのか、一覧ください。

詳細は
こちらから



<https://www.cancernet.jp/seikatsu/sexuality/>



【総合監修】 渡邊知映先生（昭和大学保健医療学部 教授）
【監修】 菊地栄次先生（聖マリアンナ医科大学 腎泌尿器外科 教授）
湯村寧先生（横浜市立大学附属市民総合医療センター 生体医療センター泌尿器科）
大川玲子先生（徳島大学附属市民総合医療センター 泌尿器科）
宇津木久仁子先生（公財）がん研究会 有明病院 健診センター、婦人科、リンパケア室

AYA week 2021 イベント 「もっと知ってほしいAYA世代の がんとセクシュアリティのこと」 3月19日開催

AYA世代のがん患者やそのパートナーにとつての性に関することをテーマとしたセミナーを開催しました。イベントでは、プロジェクト総合監修の渡邊知映さん（昭和大学保健医療学部 教授）、監修の湯村寧先生（横浜市立大学附属市民総合医療センター 生体医療センター泌尿器科 部長）、がん経験者として佐藤崇宏さん（精巣腫瘍・白血病経験者）にご登壇いただきました。Q&Aでは「がん経験と化学療法の後遺症による身体の障害がネックになり、恋愛にもなかなか踏み出せません」「セクシュアリティに関する不具合等が治療上あっても、なかなか相談できず、困っている患者さんも多いのではないかと思います。相談できる場を充実させるにはどうしたら良いと思いますか？」などといった質問があり、様々な視点からの意見を聞くことができました。動画は現在アーカイブで公開中です。また、様々なメディアにもイベントの様子が掲載されました。

CNJのアプリ公開 「LINE」スタンプ 販売開始

新しく誕生したCNJのキャラクターには、名前の公募に対し519件の応募があり、最終投票もSNSで実施、たくさんの方に参加していただき「キャンとウィル」に決定しました。この名前には、誰もが意思（ウィル）と希望（キャン）を持つ病を乗り越えられるようにという願いが込められています。

言葉では表現しづらいパートナーとのコミュニケーションを「キャンとウィル」が表現する動く「LINE」スタンプを制作、4月2日よりリリースしました。闘病中だけでなく、妊娠中などにも使いやすい、と好評です。購入にはなりますが、売り上げの一部はCNJの活動費に充てられます。ぜひ、ご購入・活用をお願いします。



LINE STORE
<https://store.line.me/stickershop/product/14811314>



詳しくは



がん患者・パートナーのセクシュアリティ相談に対応するアプリを公開しました。アプリでの個人情報保護は厳重に管理しており、相談はニックネームで可能です。安心して、ご利用下さい。

To serve patients

患者さんのために、今できるすべてを

アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。バイオテクノロジーを患者さんのために役立てることを決意し、以来、探求を重ねてきました。40年を経た現在、アムジェンは世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、神経疾患の領域に重点を置き、アンメット・メディカルニーズに応える製品開発を進めています。

アムジェン株式会社 **AMGEN**



詳細は
こちらから



<https://www.cancernet.jp/akuekishitsu>

冊子は無料でダウンロードが可能

冊子はウェブサイトから無料ダウンロードが可能です。がんの悪液質について考えて多くの方に知っていただきたいです。是非、ご利用ください。

「もっと知ってほしい
がん悪液質の予防と改善のこと
〜がん治療中の食欲低下、
体重減少」冊子発刊

昨年度より準備を進めておりました悪液質の冊子を発刊いたしました。進行がんの5割〜8割が悪液質といわれています。体重が減少し筋肉量が減る、食欲も出ないなどの症状が出て、さまざまな機能障害と代謝異常を伴うのが、がん悪液質です。悪液質は予防と改善するための工夫が必要です。筋肉量を維持するためには診断早期からの定期的な運動や無理のない範囲での筋力トレーニングが重要で、冊子でも紹介しています。食事の工夫、家族間の衝突の原因となりやすい「食べたいけれど食べられない」VS「食べさせたいのに食べてくれない」のコラム、患者さんの体験談も参考になります。この冊子は、京都府立医科大学 大学院医学研究科呼吸器内科学教授の高山浩一先生にご監修いただき、小野薬品工業株式会社の支援で制作いたしました。



詳細は
こちらから



<https://www.cancernet.jp/seikatsu/>

「もっと知ってほしい
がんと生活のこと」
リニューアル公開

CNJのウェブサイト「がんと生活のこと」をリニューアルして、「がんと性」「患者体験談冊子」を追加して、携帯・スマートフォン対応により見やすくなりました。

がんに伴う生活のことは、がん患者・家族にとつて共通の問題です。CNJのウェブサイトの中でも閲覧数の多い「心のケア」「医療制度」「食事・栄養」の他、「がんと性」「容姿の変化」「患者体験談冊子」について、専門家の監修の情報や患者・家族・パートナーの体験談などをまとめています。それぞれのページで記事による情報が多いのも特徴で、食事は具体的なレシピが、がんの診断から治療、社会復帰の間で誰もがたどる心身の変化について丁寧に解説しています。治療中でも明るく見えるメイク、男女かわからず治療によりまつ毛や眉毛の脱毛を経験される方も多いと思いますが、メイク動画は参考になります。メイクが変わると心も変わるの不思議なもので、メイクにはパワーがあると感じます。

 Bristol Myers Squibb™
ブリistol マイヤーズ スクイブ

サイエンスを通じて、 患者さんの人生に 違いをもたらす™

深刻な病と闘う患者さんに革新的な医薬品を開発し、提供する。
私たちは、この使命を胸に、世界中であくなき挑戦を続けます。
ひとりでも多くの患者さんに、新たな希望をお届けするために。
患者さんの人生に違いをもたらすイノベーションを起こす。
それが、私たちの務めです。

認定NPO法人キャンサーネットジャパン

もっと知りたい多発性骨髄腫のこと
Hematologic Cancers

多発性骨髄腫と言われたら…？！
多発性骨髄腫について知りたければ、
病状や治療が受けられるように、まずは病状のこと、治療法や検査についてこの動画で知ってください。
正確な情報を知ることが、病状と向き合う力を育ててくれるはずです。

- 1. 多発性骨髄腫とは
- 2. 診断治療/移植療法/移植療法後の標準治療
- 3. 診断治療/移植療法後の標準治療
- 4. 再発時の治療
- 5. 最新治療の概要
- 6. 治療中の検査と治療の判定
- 7. 最新について
- 8. 治療中の検査と治療の判定
- 9. 治療法と薬の概要
- 10・11. 新しい治療とこれからの治療

Movie もっと知りたい多発性骨髄腫のこと

詳細は
こちらから



<https://www.cancernet.jp/hematologiccancer/myeloma/>



詳細は
こちらから



<https://www.cancernet.jp/kotsuzuisyu>
冊子は無料でダウンロードが可能

多発性骨髄腫の最新情報を更新しました

もっと知ってほしいシリーズ冊子・動画改訂

血液がんの一つである多発性骨髄腫は、新しい薬剤の登場により初発や再発時に使用できる薬剤が増えてきています。2016年度に公開した「動画で学ぶもっと知ってほしい多発性骨髄腫のこと」以降、経口のプロテアソーム阻害薬であるイキサゾミブや抗体薬のダラツムマブやイキサツキシマブが初発時、あるいは再発・難治事例において使用できるようになりました。その他に、保険診療で検査可能になった微小残存病変(MRD)についても詳しい解説を追加しました。

多発性骨髄腫の治療選択肢は増えてきていますが、治療を変えるたびに、新しく次の治療を受けられる可能性と、その治療を長く継続できる可能性は下がってしまうことが言われています。「良い治療はなるべく後にとっておく」ではなく、患者さんご自身にとって一番効果の高い治療をできる限り早い時期に、長く継続することが重要です。是非、動画を「活用下さい」。

診療ガイドラインの変更に合わせて、冊子の内容を改訂しました。ページ数は16ページから20ページに増え、多くの患者さんが経験される自家移植についての解説を増やしたり、患者さんの体験をインタビューして掲載した Patient's voice を最新の治療を経験されている患者さんのものに更新したりしています。ある患者さんは、自覚症状のない状況での告知で治療に踏み込めない中、同じ病気の患者さんの存在に助けられたと言いました。今は、オンラインでのコミュニケーションも多く開催しています。気持ちを気兼ねなく言い合える仲間の存在はどの疾患においても支えになりますね。

命を明日につなぐ。希望は世界中にある。

課題と国境を越えて、人々の明日をひらく製薬会社、ヤンセンファーマ。

世界のすべてが、私たちの研究室。

病と懸命に闘う患者さんのために、高い科学技術、独創的な知性、世界中の力を合わせ、新しい可能性を切り拓く。

すべては、私たちの解決策を待つ、ひとつの命のために。複雑な課題にこそ挑んでいく。新しい薬を創るだけでなく、それを最適な方法で提供する。

革新的な薬や治療法を、届ける。世界中に、私たちを待つ人がいる限り。

誰もが健やかに、いきいきと暮らす社会。

そんな「当たり前」の願いのために、自ら変化し、努力を続けます。

ヤンセンファーマ株式会社

www.janssen.com/japan

www.facebook.com/JanssenJapan

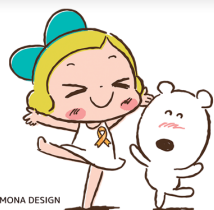


2020 年度 レモネードスタンドご報告

総数：5 件 / 寄付のみ：4 件 / 開催数：1 件
 寄付額：¥115,645 (4/1 時点)

レモネードスタンドグッズ売上：¥155,700 (4/1 時点)
 売り上げから仕入れ値を引いた寄付分：¥77,400

レモネードスタンドジャパン
 2020 年度収入計： **¥193,045**



レモネード
 グッズ
 販売中！



詳細は
 こちらから



https://www.lemonadestand.jp/wig_present

レモネード
 グッズ
 販売中！
 これからもウィッグを必要としている方々
 への提供を続けてまいりますので、引き続き
 ご支援をよろしくお願いいたします。

小児・AYA 世代のがん患者支援のレモネードスタンドは、2020 年度の開催は 1 件にとどまりましたが、寄付総額は 115,645 円となりました。新型コロナウイルス (COVID-19) による影響が続く中で、寄付を頂戴し心より感謝申し上げます。

しかし、現在も以前のようにレモネードスタンドを開催することは困難で、小児・AYA 世代のがん治療研究支援、新古ウィッグの提供など、事業を継続することが難しい状況が続いています。昨年販売を開始したレモネードスタンドジャパン応援グッズをご購入いただくことで支援も可能です。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

2020 年度

レモネードスタンド

開催報告

新古ウィッグ

プレゼント申込み

規定変更

レモネードスタンドジャパンでは、ウィッグメーカーの東京義髪整形株式会社より「レンタル期間が非常に短期だった新古ウィッグを若くしてがんと闘う方たちに役立ててほしい」との提案を受け、2024 年 2 月よりウィッグの提供を行っています。

しかし現在、新古ウィッグの在庫数が非常に少なく、提供が難しい状況が長期的に続いております。生活困窮等で本場にウィッグを必要としている 22 歳以下のがん患者さんへお届けするため、今後、「お申込みはご本人・ご両親からのお申込みのみ」「ウィッグの用意が整った時点で本人確認書類の提出」以上 2 点のお願いを追加させていただく事となりました。

お申込み・ご紹介の際にはホームページでご確認ください。

早稲田大学と共に

小児がん啓発

ゴールドリボン発売開始！

この度、早稲田大学大学院経営管理研究科（早稲田大学ビジネススクール）の鶴谷武親先生とのご縁で、鶴谷先生のゼミ（名称：企業経営と社会変革）が、CNIJ と共に小児がんの啓発に取り組んでくださることになりました。5 月 7 日に行ったキックオフミーティングでは、理事の中井美穂アナウンサーとゼミ生の皆さんで活発な意見交換をいたしました。どのような取り組みになるか、お楽しみに！

9 月は「世界小児がん啓発月間」です。世界では都市の大きな建物をゴールドにライトアップして小児がん支援をしています。日本でも今年は Gold September's Campaign として全国で啓発イベントが多々実施されるようです。CNIJ でも小児病棟で治療している小児がんの子供達や、社会で頑張っている小児がんサバイバーを応援するため、いろいろな組織と協力をして小児がん支援を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

小児がん支援のため啓発カラーである金色（ゴールド）を用い、啓発用グッズ「ゴールドリボンのピンバッジ」を作りました。是非とも啓発グッズサイトよりお求めいただき、ご協力をお願いいたします。

購入 QR は
 裏表紙から



ONCOLOGY

Better Health, Brighter Future

タケダから、世界中の人々へ。
 より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp

オンラインセミナー

「もっと知ってほしい 消化器がんのこと」開催

このセミナーは、日本イーライリリー株式会社の支援を受けて2020年3月に、秋田大学・未来がん医療プロフェッショナル養成プラン、秋田県、秋田県医師会の後援により秋田で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて2021年2月20日にオンラインにて開催し、当日は、全国（海外含む）より492名と大変多くの方にご視聴いただきました。前半は胃がんについて、菊地功先生（市立秋田総合病院）、武藤理先生（秋田赤十字病院）、後半は大腸がんについて飯田正毅先生（秋田大学医学部附属病院）、柴田浩行先生（秋田大学医学部附属病院）より、写真や動画を使った手術の様子、治療の現在と未来の可能性などについて熱心にお話いただきました。消化器がんの中でも、胃がんと大腸がんは罹患者数も死亡者数も上位を占める身近ながんです。Q&Aセッションでも治療内容についての疑問や治療後の生活、家族性腫瘍のことなど身近な質問が多く、講演終了後のアンケートからは、分かりやすく大変参考になったという感想が寄せられました。



活動報告



<https://www.cancernet.jp/27825>

オンラインセミナー

「もっと知ってほしい胃がんのこと from がん研有明病院」開催

3月20日（土）にがん研有明病院との共催で開催した胃がんのセミナーは、全国から197名（海外を含む）にご参加いただきました。佐野武病院院長の挨拶から始まり、「胃がんから命を守る」という共通タイトルの下、胃がんの内視鏡治療、早期発見と機能温存手術、免疫チェックポイント阻害剤、自宅で行えるリハビリテーションなど、胃がんに関して検診から最新の治療まで多岐にわたる内容でした。



活動報告



<https://www.cancernet.jp/30733>

BRC アンバサダーリーダーに

中井美穂さん（CNI理事）が就任されました！

大腸がん啓発ブルーリボンキャンペーン（BRC）は、患者さんが「知りたい情報」と「知らなければいけない科学的根拠にもとづいた情報」を提供するために2011年にスタートしました。提供する情報に地域差が生まれないうことを目的として、全国の大腸がん専門医である先生方に「ブルーリボンアンバサダー」にご就任いただいています。（2021.5.31現在93名）

今年3月に、オンライン「BRC アンバサダーミーティング」を開催し、全国より29名のアンバサダーの先生方に「ご出席いただきありがとうございました。そこで、中井美穂理事がアンバサダーリーダーに就任することが承認されました。中井理事は、2011年BRC立ち上げ時からセミナーや市民公開講座の司会にて全国のBRCキャラバンに携わってきました。今後は、大腸がん治療情報に加えて、患者さんに近い立場でもある中井アンバサダーリーダーとともに、患者さんやご家族の生活面、心のケアなどについても取り上げていきたいと思います。

このアンバサダーミーティングでは、ボードメンバーの石黒めぐみ先生（東京医科歯科大学医学部附属病院）、板橋道朗先生（東京女子医科大学）、佐藤太郎先生（大阪大学大学院）、室圭先生（愛知県がんセンター）、金哲彦氏（プロランニングコーチ）が中心となり、今後の活動について活発な意見交換が行

われました。

これから、さまざまな環境の中においても大腸がんについての情報を発信していくことを考え、実施していきます。

今までのBRCセミナー
動画はこちらで
視聴できます



<http://www.cancerchannel.jp/posts/category/video/video-series/brc>

ボードメンバー・全国のBRCアンバサダー
はこちらから



<https://www.cancernet.jp/brc/ambmember>

ブルーリボンキャンペーン



<https://www.cancernet.jp/brc/>



2019年10月アンバサダーサミット：
福岡県博多市にて→

申込受付:

8/16(月)～10/22(金)

受験料: 11,000 円 (税込)

試験期間:

11/12(金)～11/13(土)

詳細は
こちらから



<https://www.cancernet.jp/training/cnn>

CNJ がんナビゲーター (CCN) 認定試験とは、「がんに関する信頼性の高い情報にアクセスし、理解できているかどうか」を評価することを目的として実施しています。試験はオンライン上で実施しており、試験に合格された方には認定証を発行しています。認定期間は3年間で、更新制度はありません。

2021年2月よりCCN認定試験に合格された方の活動状況をまとめたページを公開しました。174名の方がCCNとして認定されていますが(2021年2月時点)、そのうち情報公開にご同意いただいた方の活動状況について掲載しています。毎年、受験生からは「どのようにならしたらいのかかわらない」とのお声をいただきますが、CNJでは各セミナーの講演を動画で公開しており、解説冊子である「もっと知ってほしいシリーズ」もホームページで公開しています。ネット環境があればいつでも学習を始めることができますので、ぜひ多くの方からのチャレンジをお待ちしております。

CNJ がんナビゲーター (CCN) 認定試験

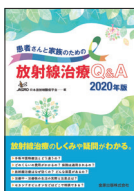
よくわかるがん免疫療法 ガイドブック

患者さんとご家族のために
日本バイオセラピー学会「よくわかるがん免疫療法
ガイドブック-患者さんとご家族のために-」
作成ワーキンググループ 編
B5判 128頁 定価2,420円(本体2,200円+税10%)

患者さんと家族のための 放射線治療 Q&A

日本放射線腫瘍学会 編
B5判 228頁 定価2,420円(本体2,200円+税10%)

金原出版 <https://www.kanehara-shuppan.co.jp/>



◆試験問題のサンプル ※ 2020 年試験問題より

大腸がん治療切除後の初発再発部位で最も多いのはどれか。
1: 脳 2: 肺 3: 肝 4: 骨 (正解: 3)

栄養評価の指標として、間違っているものはどれか。
1: コリンエステラーゼ 2: クレアチニン
3: トランスサイレチン 4: アルブミン (正解: 2)

全国にいる認定者の
活動状況はこちらから
ご覧いただけます。



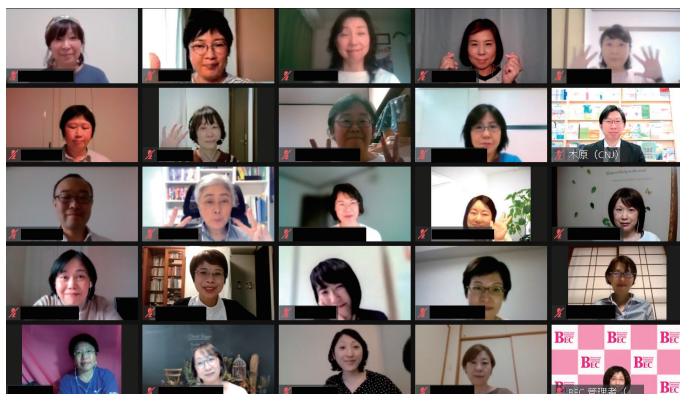
<https://www.cancernet.jp/training/beccin-activity>

昨年9月に開講した第16期乳がん体験者
コーディネーター養成講座の修了式が5月
22日オンラインで開催され、新たに37名の
CNJ認定の乳がん体験者コーディネーター
が誕生しました。

16期認定者には、すでに患者サポートをさ
れている方や、これから自分の地域で啓発活
動や患者さんをサポートする会を立ち上げたい
と思われる方、家族が乳がん罹患者しそ
のサポートのため自身も正しい知識を得たい
という方、医療従事者、自身の学びを深めたい
という方がいて、さまざまな立場や動機で受
講しています。修了式では、BECの講義で
得た学びと今後の展望についてひとりひとり発
表しました。BEC認定者は全国に287
名となりました。

BEC養成講座はE-learningシステムを
使用して乳がんについて体系的に学ぶ前期講
座と、ケーススタディ、ロールプレイを通じ
て、BECの役割を認識し、コミュニケーション
ン、伝え方を学ぶ後期講座で構成されています。
来期(17期)は昨年同様9月に開講、受講の
申し込みは7月1日よりスタートします。

乳がん体験者 コーディネーター (BEC) 養成講座



詳細は
こちらから



<https://www.cancernet.jp/training/bec>

申込受付: (早割あり)

7/1(木)～12/20(月)

受講料: 80,300 円～(税込)

受講期間:

9/2(木)～2022年5月

2020年度プロジェクトのご報告

NPO 法人がんサバイバーネットジャパンは、これからも、科学的根拠に基づくがん医療情報をあらゆる方法で発信し続け、がんサバイバーの声を広く社会に届けることで、がんになっても、生きがいをもてる社会の実現に向け、精進し続けて参ります。

活動 カテゴリ	プロジェクト	内 容	時 期	場 所	対 象
普及啓発	大腸がん啓発 ブルーリボンキャンペーン	特設 Web サイト運営 メルマガ配信	通年	Web	一般・患者・家族等
		アンバサダー ミーティング	通年	オンライン	医師等 99 名
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
	胃がん（消化器がん）疾患治療啓発 キャンペーン	オンラインセミナー 1 回開催 （日本イーライリリー 株式会社協賛）	1 月	オンライン	一般・患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
	がん研究会有明病院共催 胃がんセミナー	セミナーの企画・運営	3 月	オンライン	一般・患者・家族等
	前立腺がん啓発セミナー	Web サイトでの 情報発信	通年	Web	一般・患者・家族等
	膵臓がん啓発	オンラインセミナーの開催 （日本セルヴィエ株式会社 協賛）	7 月	オンライン	一般・患者・家族等
	子宮頸がん啓発 ティール＆ホワイトリボン プロジェクト	啓発リーフレットの配布	通年	全国	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営 メルマガ配信	通年	Web	一般・患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
	乳がん啓発	オンラインセミナーの開催 （日本イーライリリー株式会社 共催）	10 月	オンライン	一般・患者・家族等
	男性乳がんの会 メンズ BC	オンライン交流会	8 月・10 月	オンライン	患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
	Japan Cancer Forum	オンラインにて 2 日で 39 のがんに関する講義・ プログラムを実施	10 月 (2 日間)	オンライン	一般・患者・家族等
	MBS Jump Over Cancer ちゃやまちキャンサーフォーラム	MBS 毎日放送 共催 キャンサーフォーラム	11 月	オンライン	一般・患者・家族等
	がんのセクシュアリティ支援事業 （休眠預金助成）	Web サイトの作成 アプリの作成 LINE スタンプ作成	通年	Web	一般・患者・家族等
		AYA WEEK 2021 イベント参加 オンラインセミナーの開催	3 月	オンライン	一般・患者・家族等
	がんと栄養のこと	映像制作・映像配信	通年	Web	一般・患者・家族等
		アンケートの実施 （ネスレ日本株式会社協力）	9 月	Web	患者・家族等
	がんと生活のこと	特設 Web サイトでの 情報発信	通年	Web	一般・患者・家族等
	SNS	22 種 Facebook Twitter / Instagram/ YouTube	通年	Web	一般・患者・家族等

(期間：2020年4月1日～2021年3月31日)

活動 カテゴリ	プロジェクト	内 容	時 期	場 所	対 象
普及啓発	神奈川県との協働事業 造血幹細胞移植 総合支援プロジェクト Start to Be	特設 Web サイトでの 情報発信	通年	Web	一般・患者・家族等
		血液がんフォーラム オンラインによる講義・ プログラムを実施	8月 (2日間)	オンライン	一般・患者・家族等
	血液がん	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	多発性骨髄腫	特設 Web サイトでの 動画再収録・配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	急性リンパ性白血病	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	造血幹細胞移植	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	小児脳腫瘍	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	悪性黒色腫：メラノーマ	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	婦人科がん	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	卵巣がん	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	がんチャンネル	特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
	もっと知ってほしいシリーズ冊子	新規 2 冊、改訂 3 冊 全 36 冊公開・配布	通年	Web/ 全国	一般・患者・家族等
	機関誌	機関誌作成・発行	夏、冬	Web/ 全国	一般・患者・家族等
	株式会社電通の有志、 株式会社資生堂との共同プロジェクト LAVENDER RING	書籍「自分らしく、を生きて いく」発行	通年	Web	一般・患者・家族等
養成講座	CCN： CNJ がんナビゲーター認定試験	Web 試験	12 月	Web	一般・患者・家族
	BEC：乳がん体験者 コーディネーター養成講座	E-Learning/ オンライン ミーティング	9～5 月	オンライン	乳がん患者・ 医療従事者ほか
	BEC/CIN フォローアップ	認定者フォローアップ講座	6 月	オンライン	BEC/CIN 認定者
草の根啓発活動	がん体験者ピアサポート	ピアサポーターの派遣 *一部コロナの影響に より実施できず	通年	藤沢市民病院ほか 神奈川県内 4 病院	患者・家族等
	がん情報ステーション	対面でのサポート	コロナの影響 により中止	東京・大阪	患者・家族等
	Over Cancer Together	ワークショップ形式の スピーチ研修開催	コロナの影響 により中止	東京	患者・家族等
	レモネードスタンドジャパン	レモネードスタンド開催支援 新古ウィッグプレゼント	通年	全国	一般・患者・家族等
企業協働	かつらのデイリース	情報提供・広報支援	通年	全国	患者
	ウィッグな帽子	情報提供・広報支援	通年	全国	患者
企業に向けた事業 その他	社内向け研修企画実施、社内向け動画制作等				

特定非営利活動法人（以下 NPO 法人）の活動は、私どものミッションとビジョンに賛同を頂いた
企業様・団体様、個人様の寄付、及び事業収益により行なわれています。

以下のリストは、NPO 法人がんサポーターネットワークに寄付、ならびに事業支援を頂いている企業様・団体様・個人様です。

Supporter サポーター企業

※数字・英語・五十音順

MSD 株式会社
SOMPO ひまわり生命保険株式会社
ZURICH FOUNDATION
朝日新聞健康保険組合
味の素株式会社
アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
アヴィ合同会社
アボットジャパン合同会社
アムジェン株式会社
アルフレッサファーマ株式会社
イー・エー・ユー株式会社
イルミナ株式会社
エーザイ株式会社
エーツケア株式会社
小野薬品工業株式会社
科研製薬株式会社

株式会社インテージヘルスケア
株式会社資生堂
株式会社ツムラ
株式会社電通
株式会社東京義髪整形
株式会社プラメド
株式会社ひびたす
株式会社日立保険サービス
株式会社メディコン
株式会社メディリード
株式会社ヤクルト本社
金原出版株式会社
国際ライフサイエンス株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
ジョンソンエンドジョンソン株式会社
セルジーン株式会社
ソニービジネスソリューション株式会社

ソフトバンク株式会社
大鵬薬品工業株式会社
武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
テルモ株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本セルヴィエ株式会社
ネスレ日本株式会社
バイエル薬品株式会社
ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社
メディカル・データ・ビジョン株式会社
メディデータ・ソリューションズ株式会社
メルクバイオファーマ株式会社
メットライフ生命保険株式会社
ヤフー株式会社
ヤンセンファーマ株式会社
ライフネット生命保険株式会社

Nonprofit 非営利組織サポーター

※掲載順不同

認定 NPO 法人希望の会
NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構
NPO 法人腺友倶楽部
NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ
NPO 法人エンパワリング プレストン・E-BeC
NPO 法人中皮腫サポートキャラバン隊

公益財団法人前立腺研究財団
公益財団法人大阪国際がん治療財団
一般社団法人日本小児・血液がん学会
NPO 法人日本小児がん研究グループ
日本がん免疫学会
LAVENDER RING

国立研究開発法人国立がん研究センター
藤沢市民病院
相模原市
公益財団法人がん研究会有明病院
国立大学法人島根大学

Media メディアサポーター

※掲載順不同

メディアサイト株式会社
MBS 毎日放送

Lemonade レモネードスタンドサポーター

※掲載順不同

北海道東川高校ボランティア部
みいみのレモネードスタンド

Little Pianist ♪
海宙塾
KISHIWADA

Supporter 個人サポーター

※掲載順：五十音順・敬称略※掲載のご許可をいただいている方のみのご紹介です。

明石みき	緒方直美	桑原澄恵	新内俊昭	中澤真紀	野北まどか	福岡勝和	山口勝己
安部猛	小澤公弘	小あ鹿学	鈴木雄太郎	中嶋健太郎	野寄容平	福田文子	山田都
有吉恵介	小野一己	小松弥生	高橋淳子	中野俊夫	橋浦由記子	藤森香代子	横田幸子
伊藤栄次	上鶴瀬麻有	酒田亜希	瀧戸裕一	長野正章	橋本里美	前田利文	吉田征司
伊沼敦子	上村璃菜	櫻洋一郎	武田さわ子	中裕城	花岡朋和	松本武嗣	吉田高章
上瀧大	川越敏章	佐藤ゆう子	武田高德	永吉寛吾	浜本 康夫	水八寿裕	吉村寛子
江越 洋二	川平有紀	佐藤由美	武田史子	西田憲司	早川孝之	村田里依	渡辺厚こ
蝦名章	岸本大輔	篠原幸子	田丸弥生	西山毅	原田雅義	桃井恵理奈	渡邊昌彦
遠藤巨	北林あい	志村典子	土居礼子	西野実鈴	平野翔大	守田亮	
大串愛子	北山陽一	白川光政	堂前直美	丹羽規子	福島さゆり	矢野広恵	

米国は今年、1971年12月に「がん対策法 (National Cancer Act)」ができてから50年目を迎えます。毎年、がんのため多くの米国民が命を奪われる状況下で、がん研究を重要な国家戦略に位置づけたのです。以後、米国立がん研究所 (NCI) の研究費は飛躍的に増え、臨床試験のデータ収集システムの構築や、基礎研究、新たな治療の開発研究が進められてきました。

NCI が属する米国国立衛生研究所 (NIH) の調査研究予算は1990年初めは年間200億ドル程度でしたが、増加を続け2020年度は417億ドル (約4兆5437億円) です。調査研究がもたらした早期発見や治療法の改善、喫煙率低下、免疫療法など新たな治療法の発見などにより、がん死亡率は1991年をピークに、下がり続けています。最も多いのは肺がん、大腸がん、乳がん、前立腺がんですが、こうしたがんの死亡率は、1990年から2017年までに50%以上 (乳がんは40%) の大幅な減少を見せています。この間、喫煙人口は減りましたが、がんリスクを高める肥満や糖尿病人口は増えています。また子宮頸がんをはじめ、

HPV ワクチンで予防可能になったがんがある一方で、膵がん、脳腫瘍、卵巣がんなど、今も有効な診断検査のないがんもあります。バイデン大統領も、デラウェア州司法長官だった長男のボー・バイデン氏 (46歳) を、2015年5月に脳腫瘍のために失いました。

4月28日、連邦議会での施政方針演説でバイデン大統領は、NIHの中にアルツハイマー、糖尿病、がんなどの病気に特化して予防、診断、治療の研究を飛躍的に進める新たな機関を設立する考えを示し、「私たちの手で、私たちを苦しめてきたがんを終止符を打とう」と呼びかけました。

この1年は、コロナ禍でがん医療や研究も中断を強いられることもありました。それでも米国臨床腫瘍学会 (ASCO) や米国癌学会 (AACR) は世界中の研究者と迅速に情報交換をしつつ、テレメディシン (遠隔医療) を活用した医療サービス、臨床試験に参加する患者の住む地域の医療機関との連携で試験を継続するなど、工夫をしながら乗り越えてきました。この50年間に培った知見、技術革新、様々な連携で、これまで以上にがん克服への期待が高まっています。

情報提供 / 海外がん医療情報リファレンス

大橋靖雄先生ご逝去のお知らせ

長年 CNJ 理事を務めてくださっていた大橋靖雄先生 (中央大学人間総合理工学教授 / 東京大学名誉教授) が3月11日に逝去されました。大橋先生は1992年に東京大学で日本初となる生物統計学講座の教授に就任され、疫学・生物統計学の第一人者でした。がんの臨床試験へ精力的に取り組み、日本での標準治療が確立したのは大橋先生の功績と言っても過言ではありません。謹んでご冥福をお祈りいたします。



吉田先生へ感謝を込めて

CNJ 元理事長の吉田和彦先生 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター院長) は、今年の3月で東京慈恵会医科大学をご退官されましたので、岩瀬哲理事長と木原康太事務局長が訪問し、正会員としても長年支えていただいたことに感謝をお伝えしてきました。吉田先生はメモリアル・スローンケタリングがんセンターでのご経験から、患者向け冊子を日本語訳にし、無償で配布する活動をされました。それが現在の当団体の活動に繋がっています。



support

私たちの活動を
応援してください



寄付で応援

- ・マンスリー、都度寄付クレジット対応 OK!
- ・遺贈寄付のご相談もお受けしております



みなさまからの継続的な支援により、多くの患者さんやご家族、その支援者、医療者にエビデンスに基づいた情報を届けることができます。寄付で、キャンサーネットジャパンと共に日本のがん医療を変えましょう。

キャンサーネットジャパンに寄付された方は、確定申告によって、寄付金控除等の税制優遇を受けることができます。

チャリボンで応援

Know (≠NO) More Cancer プロジェクト

～古本が寄付になる!～

読み終えた本や不要になった本*、整理したい本などを「チャリボン」にお送りください。その買い取り価格がキャンサーネットジャパンへの寄付になります。

寄付の際に
支援先名称を
「キャンサーネットジャパン」を
選んでください!

<https://www.charibon.jp/>



* 本・CD・DVD
ゲームソフト
書損じハガキ

※こちらのものは買い取れません。
「ISBN」のない本／百科事典／コンビニコミック／個人出版など。詳細はサイトにてご確認ください。

古着で応援

着なくなった洋服
眠っているブランド品が寄付になる!

Brand Pledge は、ブランド品買取サービス「ブランドピア」と寄付プラットフォームサービス「Syncable」の運営する買取寄付サービスです。洋服や様々なファッションアイテムを手間をかけずに簡単に寄付できます。

<https://brand-pledge.jp/associate/cancernetjapan/>

洋服・アクセサリ
バック・スカーフ
ハンカチ・タオル

※こちらのものは買い取れません。
使用困難なシミやダメージがあるもの、子ども服など。詳細はサイトにてご確認ください。

疾患啓発・応援グッズ購入で応援

啓発グッズをお買い上げ頂き創出した利益は、全てキャンサーネットジャパンの活動資金として活用されます。



NEW



小児がん啓発
ゴールドリボン ピンバッジ
¥500

NEW



乳がん啓発
ピンクリボン ピンバッジ
¥500

NEW



全がん啓発
ラベンダーリボン ピンバッジ
¥500



ラベンダーリング
うれしカルタ
¥500



小児がん啓発
レモネードスタンドトート
¥2,000



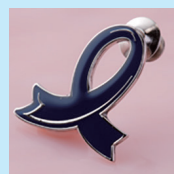
男性乳がん啓発
ピンバッジ
¥1,000



すい臓がん啓発
パープルリボン タイピンタイプ
¥1,000



子宮頸がん啓発
ティール&ホワイトリボン
ピンバッジ
¥500



大腸がん啓発
ブルーリボン ピンバッジ
¥500



胃がん・食道がん啓発
ベリウィングリボン ピンバッジ
¥500